

LIVING

リビング 名古屋 ニュース

発行 名古屋リビング新聞社

地元ネタ満載/
リビング名古屋Web ▶ <http://mrs.living.jp/nagoya>

Index 4 お伊勢参(東子参2017)が楽しみ 6 いちごカップcake(抹茶)ケーキ 7 イラダとの付き合い方、食べ方

医療
ホットライン
脳卒中外来

高血圧だといわれました。 脳卒中になる可能性はありますか？



川島病院
波多野 勉和先生
脳神経外科医師、脳神経外科
専門医、脳卒中専門医

A 脳卒中の原因は動脈硬化
今すぐ、生活習慣を見直しましょう

「脳卒中を引き起こす原因は、動脈硬化です。動脈硬化は、血管の内径が狭くなることで、血流が悪くなり、脳に十分な血液が行かなくなることで起こります。高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、肥満などが、動脈硬化の原因となります。高血圧は、血管に負担をかけ、血管を傷つけ、動脈硬化を促進します。糖尿病は、血糖値が高くなることで、血管を傷つけ、動脈硬化を促進します。脂質異常症は、血液中の脂質が増えることで、血管を詰まらせ、動脈硬化を促進します。喫煙は、血管を傷つけ、動脈硬化を促進します。肥満は、高血圧や糖尿病の原因となり、動脈硬化を促進します。」

「脳卒中になる原因は、動脈硬化です。高血圧があるだけでも、脳卒中になる確率は3〜4倍と言われています。それに糖尿病が加われば、さらに確率が上がります。動脈硬化を防ぐためには、生活習慣を見直しましょう。高血圧がある場合は、塩分を減らす、運動を続ける、ストレスを減らす、禁煙、肥満を減らすなどが効果的です。糖尿病がある場合は、血糖値をコントロールし、運動を続ける、健康的な食生活を心がけるなどが効果的です。脂質異常症がある場合は、脂質を減らす、運動を続ける、健康的な食生活を心がけるなどが効果的です。喫煙は、血管を傷つけ、動脈硬化を促進します。禁煙することが、脳卒中のリスクを減らすのに効果的です。肥満を減らすことも、高血圧や糖尿病の原因を減らし、動脈硬化を予防するのに効果的です。」

「脳卒中は、動脈硬化の成れの果てとも言われています。つまり、脳卒中になったら進行を食い止めるのは難しいです。しかし、脳卒中のリスクを減らすことは可能です。生活習慣を見直し、高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、肥満を改善しましょう。また、定期的な健康診断を受けることも、脳卒中のリスクを減らすのに効果的です。脳卒中は、一度発症すると、後遺症が残ることがあります。脳卒中を予防することは、後遺症を減らすことにもつながります。脳卒中は、一度発症すると、後遺症が残ることがあります。脳卒中を予防することは、後遺症を減らすことにもつながります。」

回復期リハビリ専門病院



患者さま、利用者様の人権を尊重し、充分なインフォームドコンセプトのもと、心のもった医療・福祉サービスを提供する姿勢を表しています。地域連携を心がけ、皆様の求める医療・福祉とは何かを知りたい。職員一同理念の共有のもと、全力を尽くして地域の貢献に努めていきたいと思っています。

川島病院 KAWASHIMA HOSPITAL
TEL 052-773-1155
受付時間/月～土 9:00～18:00



診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
午後 15:00～19:00	○	○	○	○	○	○

〒463-0032 名古屋市中山区白山3-501 <http://www.kawashima-hp.jp> QRコード 休診日/水、土曜午後、日、祝、年末・年始